

十和田市事務事業評価シート

【事務事業の概要】

整理番号	②-102	実施計画番号	128	事業開始年度	22
事務事業名	十和田産品及び十和田市の認知度向上			事業終了年度	
担当課名	とわだ産品販売戦略課			事務の種類(選択)	自治事務
根拠法令等	関連事務事業				
背景や経緯等	十和田市の農業や産品の特長・魅力を発信するため、メディア(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、WEB等)に対するパブリシティ活動、「十和田ふあみりーず」や首都圏でのキャンペーンなどの機会を活用するなど、多様な情報発信活動を推進して十和田産品の知名度向上を図る。				
事務事業の目的	十和田産品に関する情報及び産地の取り組みを発信し、生産者と消費者との情報共有を図る。				
実施状況	メディア招へいにより誌面掲載やTV放映につなげているほか、「にんにく」、「長いも」、「ねぎ」、「ごぼう」の大産地としての認知度が高まっている。				

【人件費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
正職員	従事者数(人)	1	1	1
	活動日数(日)	244	243	243
	人件費(千円)	8,784	8,748	8,748
正職員以外(選択↓)	従事者数(人)	1	1	1
	活動日数(日)	244	243	243
パートタイマー	人件費(千円)	1,020	1,016	1,016

【事業費の推移】

	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
事業費合計(千円)	10,607	7,760	7,761

【指標】

活動指標	活動指標名①	おいしい十和田Facebookによる投稿件数				
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		件	200	150	165	
	活動指標名②	メディアツアーの実施				
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		件	0	2	3	
成果指標	成果指標名①	十和田市及び十和田産品の全国系メディアへの露出件数				
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		回	目標値	10	10	10
			実績値	9	10	
			達成度(%)	90%	100%	
	成果指標名②					
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
			目標値			
		実績値				
		達成度(%)				

十和田市事務事業評価シート

【担当課による検証】

ポイント		検証(選択)	評価	点数	合計	検証の理由				
妥当性	①	市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	A	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">存在意義の見直しの余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">信頼度及び影響力の面からも市が直接発信することの必要性は高い。</td> </tr> </table>	存在意義の見直しの余地	0 / 4	信頼度及び影響力の面からも市が直接発信することの必要性は高い。	
	存在意義の見直しの余地	0 / 4								
信頼度及び影響力の面からも市が直接発信することの必要性は高い。										
②	実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A	2						
有効性	③	活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">成果向上の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ゆるキャラ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス、首都圏メディアを活用した情報発信を行っており、露出件数も順調に推移している。</td> </tr> </table>	成果向上の余地	0 / 6	ゆるキャラ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス、首都圏メディアを活用した情報発信を行っており、露出件数も順調に推移している。	
	成果向上の余地	0 / 6								
	ゆるキャラ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス、首都圏メディアを活用した情報発信を行っており、露出件数も順調に推移している。									
④	成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2						
⑤	事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2						
効率性	⑥	事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">コスト削減の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">情報の質を高めるため、多様なメディア等を活用して、効率的な発信に努めている。</td> </tr> </table>	コスト削減の余地	0 / 6	情報の質を高めるため、多様なメディア等を活用して、効率的な発信に努めている。	
	コスト削減の余地	0 / 6								
	情報の質を高めるため、多様なメディア等を活用して、効率的な発信に努めている。									
⑦	他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2						
⑧	民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2						
公平性	⑨	受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	A	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">受益者負担適正化の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市の取組みや産品に関する情報、市内事業者の事業活動などを紹介することにより、十和田産品はもとより十和田市の認知度を高めるものであり、受益の偏りはない。</td> </tr> </table>	受益者負担適正化の余地	0 / 4	市の取組みや産品に関する情報、市内事業者の事業活動などを紹介することにより、十和田産品はもとより十和田市の認知度を高めるものであり、受益の偏りはない。	
	受益者負担適正化の余地	0 / 4								
市の取組みや産品に関する情報、市内事業者の事業活動などを紹介することにより、十和田産品はもとより十和田市の認知度を高めるものであり、受益の偏りはない。										
⑩	受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2						
現在の適性					20 / 20	改善の余地	0 / 20			

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **20** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **0** 点です。

【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

現状のまま継続

方向性の理由 ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

十和田市及び十和田産品の知名度向上のため、有効な事業展開が図られているため。

今後の具体的な取組方策と狙う効果 ※事業終了年度がH27の場合は、『事業を実施したことにより今後見込まれる効果』を記載してください。

十和田ふぁみりーずやSNS等広告媒体を活用した情報発信やメディアの活用を実施する。